

設立趣旨書

足温ネットは、気候変動枠組み条約第3回締約国会議(COP3)を前に、1996年11月29日江戸川在住・在勤の市民を中心に結成された。そして、気温上昇や異常気象の頻発化など、気候変動によって地球上すべての生態系に深刻な影響をもたらす「地球温暖化」問題について、この原因が人間の産業経済活動や生活によって排出される二酸化炭素などの温室効果ガスであることから、その排出削減に市民が地域のレベルから取り組むことにより、持続可能な地域社会、地球社会の実現に向け活動してきた。

1997年1月の旗揚げ集会以降、二酸化炭素の数千倍者温室効果を持つ特定フロンガス(CFC)が区内の自動車解体業者から年間30tも排出されている事実に対して、微力ながら市民による特定フロン回収を実施し、同年9月からの江戸川区のフロン回収事業開始に結びつけた。さらに、区民集会で地球温暖化問題の啓発に努める一方、エネルギー消費のあり方について検討を続け、COP3京都会議において発表を行った。

現在、事業者・行政とのパートナーシップの下活動を進めている我々だが、今後、市民出資による自然エネルギー発電所の建設、フロン回収認証制度など未来の地域と地球のため活動を展開していくためには、法人化が必要と判断。ここに、特定非営利活動法人「足元から地球温暖化を考える市民ネット・えどがわ」として再出発することになった。多くの人々のご賛同、ご協力、ご参加を呼びかけるものである。

1998年12月1日

特定非営利活動法人「足元から地球温暖化を考える市民ネット・えどがわ」

設立発起人一同